allcinema

# 仮面／ペルソナ（1966）

PERSONA

**メディア** 映画
**ジャンル** ドラマ
**製作国** スウェーデン
**色彩** B&W
**時間** 82分
**初公開日** 1967/10/21
**公開情報** ＵＡ

**【解説】**

ベルイマンがノルウェーの劇壇で見出したウルマンの初主演作で、容貌のよく似たアンデルソンと凄絶な演技合戦をしている。脚本もそのため名匠自ら書き下ろしたもの。舞台女優のエリザベート（ウルマン）は、仕事も高く評価され、私生活でも夫は理解があり、子供にも恵まれて、何不足ない暮らしをしていたが、舞台上で言語障害を起こした後、全身麻痺に陥ってしまう。一夏の転地療養を勧められ、看護婦アルマ（アンデルソン）と共に海辺の女医の別荘を訪れたエリザベート。不明瞭な彼女の言葉をよく理解し、懸命に尽くすアルマ。やがて二人は患者と看護婦という結びつきを越えた所で親しく接するようになる。その意識の共有。エリザベートの出産話はアルマにつわりの体験をさせ、アルマの肉欲が久しく夫と寝ていなかったエリザベートの快感を操る。ある日アルマは、かつていきずりの男たちと浜に戯れ、その結果妊娠した子を堕胎したトラウマを告白する。このことをエリザベートは女医への手紙に綴ってしまい、それを見たアルマと仲違いするが、憎しみすら互いの同体感覚を呼び覚ますのだ。しかし、この二人の関係もあっけなく終わりを遂げるときが来てしまう……。西洋人に根深い“ドッペルゲンガー”観へのベルイマンなりの新解釈と呼べる作品で、鮮烈な官能が名手ニクヴィストによる黒白画面に迸っている。

**【クレジット】**

| | | |
|---|---|---|
| **監督** | イングマール・ベルイマン | Ingmar Bergman |
| **製作** | イングマール・ベルイマン | Ingmar Bergman |
| | ラーシュ＝オーヴェ・カールベルイ | |
| **脚本** | イングマール・ベルイマン | Ingmar Bergman |
| **撮影** | スヴェン・ニクヴィスト | Sven Nykvist |
| **音楽** | ラーシュ・ヨハン・ワーレ | Lars Johan Werle |
| **出演** | ビビ・アンデション | Bibi Andersson |
| | リヴ・ウルマン | Liv Ullmann |
| | グンナール・ビョルンストランド | Gunnar Bjornstrand |

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.